令和７年度　ライフゆうかり行事報告書

月	行事 内容	行事 場所	職員
４月	花見（各ユニット） 誕生日会（各ユニット） 消防訓練	ゆうかり庭園 ゆうかり内 〃	リーダー会議 職員給食会議 新人職員オリエンテーション
５月	母の日 誕生日会（各ユニット） 藤の会（歌・ダンス）	ゆうかり内 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議
６月	父の日 誕生日会（各ユニット）	ゆうかり内 〃	リーダー会議 職員給食会議
７月	七夕（各ユニット） 誕生日会（各ユニット） BCP 水害対策訓練	ゆうかり内 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議 環境整備（除草作業）
８月	花火大会（各ユニット） 藤の会慰問 誕生日会（各ユニット）	ゆうかり内 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議 環境整備（除草作業）
９月	敬老会（全体） 職員健康診断 誕生日会（各ユニット） 嗜好調査 藤岡東中学校チャレンジウィーク フォルテシモ慰問（歌）	ゆうかり内 〃 〃 〃 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議 職員健康診断
10 月	消防訓練 ハロウィンパーティー 誕生日会（各ユニット） 入所者胸部レントゲン検査	ゆうかり内 〃 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議 環境整備（除草作業）
11 月	焼き芋レク 藤の会慰問（歌） 誕生日会（各ユニット）	ゆうかり内 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議
12 月	クリスマス会（各ユニット） 誕生日会（各ユニット）	ゆうかり内 〃	リーダー会議 職員給食会議
１月	新年会（全体） 誕生日会（各ユニット） BCP 感染症対策訓練	ゆうかり内 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議
２月	節分（全体） 藤の会慰問（歌） 誕生日会（各ユニット）	ゆうかり内 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議
３月	ひなまつり（各ユニット） デザートレク 誕生日会（各ユニット） 職員健康診断	ゆうかり内 〃 〃 〃	リーダー会議 職員給食会議 職員健康診断（夜勤者対象）

令和７年度　ライフゆうかり研修報告書

月	日	研修名	研修内容
４月	23 日	身体拘束等の適正化研修	・ライフゆうかり身体拘束の指針、施設における身体拘束及び身体拘束を行わないための取り組み
	30 日	消防訓練	・夜間想定での通報訓練、利用者避難、消火栓設備確認
５月	28 日	高齢者虐待防止・権利擁護研修	・ライフゆうかり高齢者虐待防止の指針について説明及び確認
６月	19 日	アテントマイスタープロ研修	・自己紹介、適切なおむつの選び方、当て方の実演
	25 日	食中毒対策研修	・食中毒予防の実践
	23 日	アテント的身体拘束とは	・商品会社が考える身体拘束とは
	28 日	感染症研修	・施設内で気を付けたい食中毒対策及び対応
７月	７日	アテントマイスタープロ研修	・排泄のメカニズムとスキンケアについて
	18 日	高齢者権利擁護における看護実務者研修	・高齢者権利擁護と実情
	23 日	BCP 対策・自然災害停電訓練	・ＢＣＰ・災害有事の備え
	31 日	安全対策責任者講習	・安全対策の必要性など
８月	８日	事故防止対策研修	・ライフゆうかり事故防止対策の指針について説明及び施設内で発生した事故を振り返り再発防止への取り組み
	８日	高齢者権利擁護における看護実務者研修	・高齢者権利擁護の実践
９月	３日	褥瘡予防研修	・姿勢や体圧分散による予防
	16 日	中堅職員 OJT 研修	・中堅職員
10 月	22 日	身体拘束等の適正化研修	・拘束の定義・疲弊や拘束廃止に向けて取り組むべき視点
	29 日	火災避難訓練（BCP 研修）	・日中を想定しての避難誘導訓練
11 月	５日	高齢者虐待防止・権利擁護	・ライフゆうかり高齢者虐待防止の指針　グループワーク
	13 日	メンタルケア	・日頃の悩みを打ち明けよう
12 月	３日	感染症対策研修	・感染症とは・・・再確認しよう
	４日	多野藤岡リハビリ研究会	・認知症のメカニズム
	11 日	外部研修（藤岡総合 HP 認定看護師）	・摂食・嚥下
	18 日	外部研修（黒沢 HP 認定看護師）	・触文化
	24 日	BCP 対策・感染症研修	・社会的感染症蔓延時の対策
１月	28 日	身体拘束等の適正化研修	・身体拘束の事例解説等
２月	25 日	事故防止対策	・事故報告書を基にした検証
３月	５日	外部講師個人情報研修	・昨今の個人情報保護法について
	25 日	褥瘡予防研修	・車いす座位における褥瘡予防について

※事故防止対策・高齢者虐待（権利擁護・身体拘束含む）・感染症・褥瘡予防・研修教育委員会等が委員会を実施し研修内容を検討し開催する。

※身体拘束等の適正化委員会・感染症委員会は３ヶ月に１回開催するものとする。

※その他、老施協等・外部研修等・オンライン研修等も参加予定とする。

※新人職員採用時は適宜研修を実施する。

※e ラーニング研修の活用（４講座以上/年間）